



# MGU Chapel Letter

—第 22 号 2023 年 4 月 12 日— 発行：大学宗教センター



## \* 2023 年度聖句 \*

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、  
行わせておられるのは神であるからです。」

フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節



## ❖ 大学礼拝が 17 日から始まります！

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

### 礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

|               |       |                  |
|---------------|-------|------------------|
| ・ 4 月 17 日（月） | 佐々木哲夫 | （理事長・学院長・宗教総主事）  |
| ・ 4 月 19 日（水） | 栗原健   | （大学宗教センター長）      |
| ・ 4 月 21 日（金） | 大久保直樹 | （中高宗教主事）         |
| ・ 4 月 24 日（月） | 長谷部弘  | （学長）             |
| ・ 4 月 26 日（水） | 松本周   | （一般教育部准教授）       |
| ・ 4 月 28 日（金） | 清水禎文  | （教育学部教授）         |
| ・ 5 月 1 日（月）  | 栗原健   | （大学宗教センター長）      |
| ・ 5 月 8 日（月）  | 金丸真   | （仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師） |

\* 聖書・讃美歌をお持ちください。

## ❖ 聖書・讃美歌販売のお知らせ

仙台キリスト教書店による聖書・讃美歌の販売が、4 月 10 日（月）から 14 日（金）にかけて、教科書販売と同じく小ホールで行われています。新入生の方は購入を忘れないように気をつけましょう。なお、支払いの際には生協プリペイド・図書カードは使用できません。



## ✦ スクールモットー、ここが分からん？ ✦

これを読んでいる方には、新入生も多いと思います。大学に入ると、聞き慣れないことが多くて戸惑いやすいですが、その1つが「スクールモットー」ですね。宮学のモットーは、「神を畏れ、隣人を愛する」です。

「隣人を愛する」については、「隣人愛」という言葉もあるので何となく分かると思います。難しいのは、「神を畏れる」の方でしょう。「おそれる」と聞くと、ふつう私たちは「こわがる」ことをイメージします。そのため、「神というのはおっかない存在で、ああしろこうしろと押しつけて来る。従わないとバチが当たる」というふうに受け取った人も、多いのではないのでしょうか。

ところが、これはそういう話ではないのです。ここで使われている漢字は、「恐」ではなく「畏」ですね。「畏敬」のように、「相手を大事な存在として、きちんと向き合う」という意味の字です。「神を畏れる」も、そのような意味で理解すべきなのです。

「え〜と、私はクリスチャンじゃないんだけど、『神と向き合う』って、私にも関係あるの?」と思ったかも知れません。それが、ちゃんと関係があるのです。

聖書は、「全ての人は、大切に価値がある存在として神に造られており、1人ひとりの人生には意味がある」と教えます。意味が無いものなら、始めから存在しません。そうである以上、「神と向き合う」ことは、「自分が生きていることには意味があり、この社会で出来ることがある。自分は、『こういう人がほしいな。ぜひ生きてほしい』と望まれて生まれた存在なのだ」と知って、人生をしっかりと生きて行くことも含みます。

それは同時に、「他の人も1人ひとり、大切な、意味ある存在なのだ」と知って行くことでもあります。「隣人を愛する」につながりますね。このように、「神と向き合う」ことは、「自分自身と向き合う」「他者と向き合う」ことにも直結して行くのです。

自分はどのように生きて行くべきなのか。他者とどのように支え合えるのか。深く考えながら人生を歩んで行くと、聖書の言葉と響き合うような体験をすることが起きて来ます。そういう面白い書物だからこそ、聖書は2000年間読まれているのです。キリスト教関連の授業や礼拝を通じて、この面白さを味わって行きましょう。(栗原)



【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : [christ-c@mgu.ac.jp](mailto:christ-c@mgu.ac.jp)